学校番号	T0106

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　新数学Ａ（東京書籍）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

「場合の数と確率」の分野における基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、授業を通して、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるよう、またそれらを活用するようにがんばりましょう。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して、集合と論理、場合の数と確率における考え方や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、集合と論理、場合の数と確率における見方や考え方を身に付けに事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的･発展的に考える。	集合と論理、場合の数と確率において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	集合と論理、場合の数と確率における基本的な概念、原理･法則、用語･記号などを理解し、基本的な知識を身に付けている。
評価方法	提出物、授業態度、出席状況、定期考査等	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査	提出物、授業態度、定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	場合の数	集合	○				a: 場合の数における考え方に関心を持ち，順列や組合せを用いて個数を数えることの有用性を認識し，事象を数学的に考察しようとする。 b:順列や組合せのなどの考え方を身につけ，具体的な事象についてそれらを用いて考察することができる。 c: 事象に応じて順列，組合せなどに帰着させ，正確に場合の数を求めることができる。 d: 順列や組合せに様々な条件がつく場合に，条件の処理の仕方を理解している。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		集合の要素の個数	○			○		
		順列	○	○				
		組合せ	○		○			
後期	確率	確率の意味	○	○			a: 確率の基本的な性質があることに気づき，これらを利用して確率を求めようとする。 b: 確率の基本性質を導く過程を考察することができる。 c: 場合の数を求め，それを用いて確率を考えることができる。 d: 確率の基本性質を理解し活用する知識を身につけている。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		確率の計算		○	○	○		
		独立な試行の確率		○	○			
		反復試行の確率		○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。